

報道関係各位

2009年 6月 30日

世界累計
約700万個
販売の

こんな時代の“究極のやすらぎタイム”は “ ゆらぎ コミュニケーション ” で “ 癒し ”

ソーラーパワーエコ玩具 **「のほほん族 ココロのゆりかご」** 7月9日(木) 新発売!

～ “ゆらぎ”のクリスタルボイス アーティスト「岡本真夜」さん とのコラボレーション決定!! ～

株式会社タカラトミー

株式会社タカラトミー(代表取締役社長: 富山幹太郎/ 以下タカラトミー)は、2002年7月に発売し「ソーラーパワーでゆっくりとゆらゆら揺れるエコ玩具」として、世界累計約700万個を販売している「のほほん族」(1)を、心がやすらぐメッセージを添えて、約7センチの、手の中に包みこめるミニサイズにリニューアルした「**のほほん族 ココロのゆりかご**」(1,260円/税込) **全6種を、2009年7月9日(木)から、全国玩具専門店・雑貨販売店・量販店等にて発売いたします。**

なお、この商品は、「やすらぎ」「癒し」をテーマに、来年15周年を迎えるアーティスト「岡本真夜」さんとのコラボレーションが実現し、初のセルフカバーベストアルバム「Crystal Scenery」(発売元: 日本クラウン株式会社)に「のほほん族」とコラボレーションした楽曲「つむぎうた～ココロのゆりかご Version～」が収録されており、両社のコラボレーションにより、「のほほん族」の“のんびりとした動き”と「岡本真夜」さんの音楽の相乗効果で、忙しい毎日でストレスや疲れを感じる人々にやさしく寄り添い、心が元気になるような「ゆらぎコミュニケーション」を提案していきます。



「のほほん族 ココロのゆりかご」全6種(1,260円/税込)

今回発売する「のほほん族 ココロのゆりかご」は、消費者のアンケート調査の意見をもとに「やすらぎ」を感じられるようなコンセプトで展開します。カラーバリエーションは全6色あり、「のほほん族」の最大の特長である「ソーラーパワー機能」は活かしながら、サイズは、従来の「のほほん族」の約3/4にあたる約7センチで、手の中に包みたくくなるようなサイズにし、デスクやお部屋により置きやすい大きさにリニューアルしました。また、購買理由として「ギフト」の需要も高いことから、商品パッケージや付属カードに、「変わらない味方 いつもそばにいるよ」や「自然な心地よさ そのままのキミでいて」など、元気や安らぎを与える「のほことば」(2)を記載し、より想いが伝わるようにメッセージ性を高めました。

また、来年15周年を迎えるアーティスト「岡本真夜」さんとのコラボレーションが実現し、初のセルフカバーベストアルバム「Crystal Scenery」(発売元:日本クラウン株式会社)に「のほほん族」のイメージ楽曲「つむぎうた～ココロのゆりかごVersion～」が収録されています。

「のほほん族」購入者から多く寄せられる感想として、「リラックスできる」、「安らぐ」、「ふと気付くといつも笑顔でそばにいてくれる存在」などの意見が多くあり、「岡本真夜」さんの歌声と「のほほん族」の揺れの共通点ともたらず効果について、音声・音響の分析などを手がける日本音響研究所(所在地:東京都渋谷区/代表者:鈴木松美)ご協力のもと、分析した結果、「『岡本真夜』さんの音声は2種類の『ゆらぎ』(3)が見られ、厚みのある温かい印象を与える『クリスタルボイス』と表現できる。『つむぎうた～ココロのゆりかごVersion～』を聞きながらのほほん族を見ることで視覚聴覚の相乗効果で一層のリラックス効果を期待できる」ことが分かりました。

「のほほん族」は、蛍光灯ほどの光があれば、ソーラーパワーを利用してゆっくりと首を揺らし続け、音や光を発しない為、生活の中に溶け込みやすく、ふと気付くといつもそばで見守ってくれる存在です。100年に一度という経済危機などでストレスや不安の多い現代社会の中で、「のほほん族 ココロのゆりかご」は、岡本真夜さんが伝える前向きなメッセージと「ゆらぎ」のある歌声のコラボレーションによって、人の心により一層の「やすらぎ」や「元気」、「癒し」を与えたい…という思いを込めて、2009年7月9日(木)より、1,260円(税込)/全6種にて発売いたします。

<商品概要>

- 商 品 名 : 「のほほん族 ココロのゆりかご」全6種
(ほんわかイエロー / ほっこりオレンジ / ほんのリピンク / なごみグリーン / やすらかブルー / ふんわりホワイト)
- 価 格 : 各1,260円(税抜価格1,200円 税5%)
- セット内容 : 本体・フタ・トレー・取り扱い説明書
- 商品サイズ : (W)72 × (H)75 × (D)68 mm
- 商品重量 : 54g
- 発 売 日 : 2009年7月9日(木)
- 対象年齢 : 6歳～
- 取扱い場所 : 全国の玩具専門店、百貨店・量販店の玩具売場 他
- 販売目標 : 年間30万個
- 版 権 表 記 : (c) TOMY



(イメージ写真)

「のほほん族 ココロのゆりかご」と
岡本真夜さんのNEWアルバム「Crystal scenery」

- (1) 「のほほん族」は、丸い顔いっぱいニコリとした笑顔をかべるやすらぎの種族です。
彼らは、光を浴びながら丸い顔をゆっくりとゆらゆら揺らす動きで、そばにいる人にやすらぎや心地よさを与えてくれる
不思議な力を持っています。
- (2) ほんわかイエロー (のほことば : あたたかい笑顔 毎日を照らしてあげる)
ほっこりオレンジ (のほことば : 変わらない味方 いつもそばにいるよ)
ほんのりピンク (のほことば : やさしい想い 時には甘えていいよ)
なごみグリーン (のほことば : 自然な心地よさ そのままのキミでいて)
やすらかブルー (のほことば : 澄んだこころ 静かなやすらぎをあげる)
ふんわりホワイト (のほことば : 新たな旅立ち まっさらに生まれ変わろう)
- (3) 「ゆらぎ」は、一般的に「良い音」に存在すると言われている。「ゆらぎ」には「周波数ゆらぎ」と「振幅ゆらぎ」があり、前者のゆらぎは時間的に周波数が定期的に変動し、後者のゆらぎには時間的に振幅(音の大きさ)が定期的に変動する。この「ゆらぎ」がある音を聞くと、リラックスすることが出来て脳波中の 波が優位になる傾向がみられる。
(日本音響研究所による「岡本真夜さんの音声分析と「のほほん族」の相関性」に関する分析結果より抜粋)

Profile : 岡本真夜



95年にデビュー「TOMORROW」で、200万枚というビックヒットを記録。3rd シングル「Alone」は初のバラードとしてロングセラーに。「サヨナラ」「宝物」「この星空の彼方」「ハピハピ パースディ」「いつかきっと」「Destiny」などCMソングや、ドラマ・映画の主題歌、アニメ「ちびまる子ちゃん」のエンディングテーマ曲の作曲など次々にヒット曲を輩出する一方で、広末涼子、中山美穂、岩崎宏美、上原多香子など、他のアーティストへの楽曲提供も数多くなっており、コンポーザーとしても活躍している。



初のセルフカバーベストアルバム

「Crystal scenery」

2,100円(発売中) 全8曲収録

8曲目 つむぎうた ~ ココロのゆりかご Version ~ (タカラミー「のほほん族」イメージソング)

このアルバムは、岡本真夜さんの持ち味の1つでもある声の多重録音により表現された作品です。

< 報道各位から本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社タカラトミー 広報チーム TEL 03-5654-1280 FAX 03-5654-1380

< 読者から商品に関するお問い合わせ先 >

株式会社タカラトミー お客様相談室 TEL 03-5650-1031 <http://www.takaratomy.co.jp>

(参考資料)

「のほほん族」の視覚的効果とアーティスト「岡本真夜」さんの歌声の音響的特徴について

分析結果 : 岡本真夜さんの歌声について

一般的に「良い音」には「ゆらぎ」が存在し、「ゆらぎ」には「周波数ゆらぎ」と「振幅ゆらぎ」があり、前者のゆらぎは時間的に周波数が定期的に変動し、後者のゆらぎには時間的に振幅(音の大きさ)が定期的に変動する。この「ゆらぎ」がある音を聞くと、リラックスすることが出来て脳波中の 波が優位になる傾向がみられる。

岡本真夜さんの歌声には、その「周波数ゆらぎ」と「振幅ゆらぎ」の両方存在しており、この歌声を聞くことにより、安心感・安らぎ・落ち着きを感じられる音声である。

また、一般的に人間の聴覚の特性として、2,500～5,000Hz 付近が最も聞こえやすいといわれているが、岡本真夜さんの歌声は、3,000～5,000Hz 付近に比較的強い周波数成分がある。この周波数帯は人間の耳の感度が最も良い周波数帯と言われている為、いわゆる「マイク通りの良い声」となり、様々な楽器の音が存在する中においても聞き取りやすい音声となる。また、子音の発声がきれいに出来ていると分布する7,000～13,000Hzの周波数帯も強く分布しており、清潔感・清涼感・透明感のある音声である。さらに、一般の人が聞くことが出来る最高可聴周波数の17,000Hzを超えてCDに収録できる限界の20,000Hz付近の超音波領域まで伸びる高周波成分が存在する。

よって、岡本真夜さんの音声は、清潔感・清涼感・透明感と安心感・やすらぎ・落ち着きを感じられ、厚みある温かい印象を与えるいわゆる「クリスタルボイス」と表現できるものである。

分析結果 : のほほん族との相関性について

(楽曲:「つむぎうた～ココロのゆりかご Version～」/「のほほん族」イメージング)

一般に人間は外部からの刺激の周期に体内のリズムを合わせる傾向がある。例えばダンスをするための曲であれば1分間あたり120拍程度のものが多く用いられるが、これは人間が活動的になっている際の心拍数とほぼ符合しており、また子守歌などの場合には赤ちゃんが寝る際の心拍数よりやや遅めの1分間あたり60～80拍程度のテンポのものが多く見られる。

「のほほん族」のイメージングである楽曲「つむぎうた～ココロのゆりかごVersion～」のテンポは、1分間あたり約80拍と非常にゆったりしたテンポの曲であり、前述の一般的な子守歌と近いテンポであることがわかる。つまり、この楽曲を聴くことにより体内の心拍数がリラックス時の心拍数に誘導される効果が期待される。

また、のほほん族の首振りの周期を測定したところ、1分間に約40回であった。これは分析資料の楽曲の1/2であり、首を右から左に動かした際に、分析資料の1拍に相当するために、聴覚・視覚の情報が相乗効果をもたらして、一層のリラックス効果を期待できる。

分析協力:

日本音響研究所 所長 鈴木松美氏



この参考資料は、日本音響研究所による

「岡本真夜さんの音声分析とのほほん族の相関性」に関する分析結果を抜粋した内容となります。